



感謝を伝え、信頼を築く

冬の祭典「ウインターフェスティバル」で行ったPRの試み

12月7日、名張市・伊賀市で展開する23事業所が集い、地域のご協力に支えられ、地域の皆さまとともに楽しむ冬の祭典「ウインターフェスティバル」を開催しました。

今回はこのイベントで日頃の感謝をお伝えするとともに、もっと私たちが身近に感じてほしい、日頃なじみのない事業所も知ってほしいという願いを込めて、各事業所をPRする手作りポスターを掲示しました。



会場の賑わいを置き忘れたように、ポスターを端から順に見入る方が一人、また一人と現れ、それぞれお話を伺いました。

「子供からお年寄りまで、それぞれの障害に応じた福祉サービスがこれほど多くあるとは知りませんでした。」

「私たちの身近なところで多くの職員が福祉に携わり、個性に合わせた支援を行っている事に正直驚き、地域と福祉について考えを新たにしました。」



また、職場仲間と来た方は、「同僚の暮らしぶりが伝わってきて、明日からまた仲良く働きます。」と、とっても嬉しそう。

工夫を凝らしたポスターから、「どの事業所も個性的で皆さんの思いが伝わってきます。会場にいる職員も皆明るく丁寧で、ポスターから受ける印象そのまま。市民として心強いです！」という感想もいただきました。



「この絵はきっと妹が描いたんだよ!」とご両親に説明している子どもや、「お姉ちゃん楽しそうに写っていて、とっても嬉しい!来て良かった!」とポスターを撮る子ども、また「人の役に立つ仕事。やりがいがありそう!」という中高生など、これからの時代を担う人たちにも見ていただけたのが印象的でした。



さて、誰もが安心して暮らせる地域社会を実現するために、福祉は地域の中で重要な役割を果たします。今回皆さまからいただいた温かい感想を糧に、より親しみを感じていただけるよう、福祉の中核法人として地域とともに歩み続けてまいります。

※写真とコメントは直接関係ありません。裏面もご覧ください。(取材:広報委員会)



2026年 新しい年 おめでとうございます。 今年もよろしくお願いします。

「2040年に向けて飛躍の第1歩を踏み出す年」・・・
昨年はこの言葉を書きました。経済的に小国になっていく
日本、地方の疲弊・・・そんなものに負けない理念と実
践をもう一度創り出していくという決意からです。

わたしはこの一年、国内、国外を含めて急激な変化の
潮流と、そこで豊富なアイデアと知恵でそれを乗り切る
実践を多く見てきました。守るのではなく進むのだという視
点を持つのであれば激流に巻き込まれ沈没していくの
だということを現実のこととして実感しています。

2026年私たちは理念をリニューアルし、10年ロード
マップの初年度を迎えます。大切な地域を守り事業を継
続するために、恐れずに様々なことに挑戦していきたいと
思っています。益々、地域の方々と共にという視点を強固
なものにして、すべての事業所が地域とつながることを意
識していきます。

人口は減ります。これは日本全国の大きな流れですから
止めようがありません。しかし、地域にはそこに根付いた
暮らしと文化と歴史があります。それは長い時間が紡ぎ出
したもので、お金で買うことも、即座につくりあげることも
出来ません。地方の持つその価値を誇りとして、ここでそ
れぞれの生活を守っていく社会福祉事業者としての役割
を果たしていきましょう。

10年ロードマップ工程に取り組んで行きます。これを
可能な限り、ご利用者、ご家族はもちろん地域の方々のご
意見も賜りながら、進めていきたいと考えます。力を合わ
せ、進んでまいりましょう。よろしくお願い申し上げます。

令和8年元旦

社会福祉法人名張育成会理事長

市川知恵子



(表面より) 思いがあふれる温もりのポスター

子ども支援では、一日をどのようにして過ごすかわかりやすく図解しています。また、子どもが描いた絵を紡いだり、日々の発達支援を丁寧に伝えたり、子どもに対する愛情が伝わってきます。

就労支援で新しく始めた事業の紹介は、まるでグルメ雑誌を切り抜いたよう！相談支援では、一歩を踏み出す背中をやさしく押してくれそうです。また、生活の場として過ごすうれしそうな笑顔、働く楽しさや充実した様子など、ポスターから一人ひとりの個性を尊重した思いがあふれています。

さて、MiRAiレポートブログで、1月より順次ポスターでの思いを伝えてまいります。どうかお楽しみに！（表面をご確認ください。）

